

筑波経済月報 No.157 2026.8

企業探訪

精密板金加工のプロ集団が多様で高品質な金属製品を製造

有限会社アサヒ製作所

支店長のわがまち紹介

歴史と先進性が融合した求心力のあるまち

笠間市

研究員レポート

第91回「茨城県内企業経営動向調査」（2026年6月調査）

2026年夏季ボーナス支給に関するアンケート調査

筑波総研 株式会社





魅力発見！ 秋の笠間めぐり



(写真提供／笠間市)



笠間の菊まつり

笠間の菊まつり

1908年(明治41年)に始まった日本で最も古い菊の祭典で、毎年10月下旬から11月下旬にかけて笠間稲荷神社をメイン会場に開催されます。多種多様で色鮮やかな菊を鑑賞できる大菊花展、和傘が上空に広がるアンブレラスカイ(表紙写真)、絵馬殿和傘アート、菊花手水舎などのフォトスポットが随所にあります。会期中は菊花品評会や流鏑馬など、様々な催しが開かれます。また、門前通りの各所に菊装飾スポットが設けられ、まち歩きを楽しむことができます。

笠間のウマイもん

産地だから味わえる多彩な栗グルメを堪能できます。市内には笠間の栗を使ったモンブランを食べられるお店がたくさんあり、味も形も様々。毎年秋には笠間の栗もんぶらり旅マップが発行されます。もう一つ、昔から参拝客に親しまれてきた名物「いなり寿司」も外せません。笠間稲荷の別名「胡桃下稲荷」にちなんだ胡桃入りのものや、蕎麦店がつくった蕎麦入りなど、変わり種が特徴です。どちらも菊まつりの会場周辺で味わうことができます。



モンブラン

笠間いなり寿司

笠間焼と陶芸体験

笠間は、関東で最も歴史の古い焼き物の産地です。1992年(平成4年)に伝統的工芸品に指定され、近年では古い歴史に育まれた伝統に新たな技法が加わっています。ギャラリーロード、陶の小径、代々続く窯元が並ぶやきもの通りなどを巡る楽しみもあります。本格的なロクロや手ひねり、簡単な絵付けなどが体験できる施設や工房が点在し、世界に一つだけの作品を作ることができます。



笠間焼と陶芸体験

道の駅かさま

「笠間のゲートウェイ(玄関口)」をコンセプトに2021年にオープン。笠間の栗専門のCafé&Shop、新鮮な農作物や土産品が揃う直売所、地元食材を使用した料理が楽しめるフードコートなど、笠間市の魅力を発信しています。

かさま観光周遊バス

JR常磐線友部駅、JR水戸線笠間駅、道の駅かさまを起点に周遊バスが運行し、主要な観光地を巡ります。月曜を除き1日7便運行、のんびりと市内観光を楽しむことができます(茨城交通笠間営業所 電話0296-72-0141)。

◆笠間の菊まつり

会場：笠間稲荷神社

茨城県笠間市笠間1

お問合せ：笠間の菊まつり
連絡協議会
電話0296-77-1101(笠間市
観光課内)

◆道の駅かさま

茨城県笠間市手越22番地1

お問合せ
電話0296-71-5355



道の駅かさま